

## 薬局を活用した検査機器を用いた健康増進サポート事業

薬局・薬剤師を活用した健康情報の拠点づくりを推進するため、検査機器を用いた健康サポートのモデル事業を実施する。

### 【府民の健康への課題】

COPD(慢性閉塞性肺疾患)による死亡者数は、**1,079人**(全国ワースト第**2**位)であり、年齢調整死亡率は、全国順位で見ると男性がワースト第**14**位、女性がワースト第**2**位。また、外来受療率は全国に比べても上回っている。

(出典:平成22年度都道府県別にみた主な死因別男女別年齢調整死亡率)

また、本府におけるCOPDを知っている又は名前を聞いたことがある割合(認知度)は**28%**である。(出典:第2次大阪府健康増進計画(平成25年))

⇒ 府民の健康への意識向上を図るとともに、  
発症予防や重症化予防への対策が必要。

### 【事業目的】

薬局において自ら呼吸機能測定器等により、健康状態を把握することで健康意識を高め、併せてCOPDの周知や禁煙サポート、受診勧奨を行うことで、「健(検)診受診率の向上」や「発症予防」、「重症化予防」を図る。

### 【モデル事業】

府民の健康意識の向上を図るため、次のモデル事業を実施する。

(事業内容)

検査機器(呼吸機能測定器)を活用した健康サポート

- ・健(検)診受診の啓発方法の検討
- ・COPDの周知方法の検討
- ・アンケートの実施 等

→ 実施地域:岸和田市薬剤師会(40薬局)

